

文化生活部

kurashi@kumanichi.co.jp  
TEL:096-361-3020 FAX:096-361-3290

くらし | Life

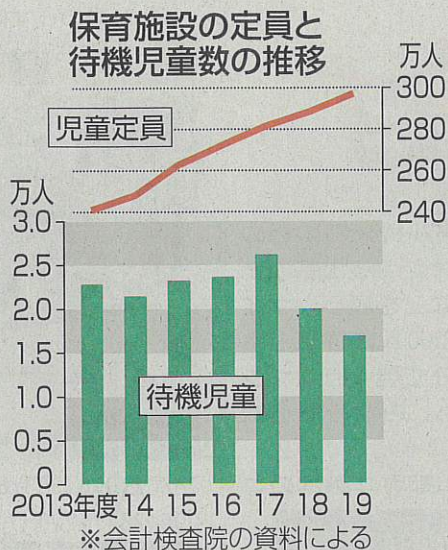
月、水、木、金、日曜日 掲載

待機児童対策の施設なのに…

保育士不足で定員に空き

待機児童対策として国の助成で整備された保育施設について、会計検査院が熊本県を除く25都道府県の166市区町村を抽出して調べたところ、2018年10月時点で2669施設の定員に空きがあり、うち22施設が理由に「保育士不足」を挙げたことが分かった。待機児童数は高止まりしており、保育の受け皿は増えたものの、保育士不足で受け入れが進んでいない現状が改めて浮き彫りとなった。

政府は13年4月、待機児童解消加速化プランを策定。17年度末までの5年間に待機児童をなくすとの目標を掲げて保育施設の整備を進め、約53万人の受け皿を確保したとしている。  
一方で待機児童数は、厚生労働省によると昨年4月時点で約1万6千人。希望の施設に落選し保護者が働くのを諦めるなどした潜在的待機児童は、さらに多いとされる。  
検査院が、加速化プランで整備された保育施設を調べた結果、2669施設に計約2万1千人分の空きがあった。「開設したばかり」などのやむを得ない事情を除くと、理由は「保育士不足」が最多で19都道府県の222施設。空き定員は計約1500人分



会計検査院調査 「需要に合った施策必要」

引き上げを実施。各保育施設は市町村を通じて補助金を受け取り、保育士の月給に上乗せしたり一時金として支給したりしている。

検査院は、25都道府県の166市区町村、6089施設を抽出し、補助金の使用状況を調査。支給を受けた年度に保育士の賃金改善に充てられなかった残額は、繰り越して翌年度中に全額を賃金に回す必要があるのに、300以上の施設が回していなかった。残額は総額約7億2千万円。

制度の理解不足が一因とみられ、検査院は、補助金が確実に保育士の賃金改善に充てられるよう内閣府に要請。内閣府は「制度の周知徹底を図りたい」としている。

で、特定の地域ではなく、全国的な傾向だった。「立地的な要因」との理由も112施設あり、検査院は保育需要の把握が不十分だった可能性があると述べている。検査院は、資格を持ちながら働いていない「潜在保育士」の就職促進など、保育士の確保に留意するとともに、年齢や地域による待機児童の発生状況、保育需要を適切に把握した取り組みを行うよう厚労省に求めた。同省は「保育士の確保状況や保育環境を十分に把握した上で施策を進めていきたい」としている。

処遇改善の残額7億円超

待機児童解消に不可欠な保育士が不足している理由の一つに、重い責任に見合わない賃金の低さがある。会計検査院は今回、保育士の処遇改善策として、国が各保育施設に支給している補助金についても調査。少なくとも300以上の施設で、保育士の賃金に充てられず残っていることが明らかになった。

厚生労働省の2018年の調査によると、保育士の平均月給は全産業の平均より約7万4千円低い。国は15年度から、保育士のキャリアに応じた給与の

専門家に相談 いつでも無料で

妊活から出産、育児まで、さまざまな悩みに各地の専門家が答える無料サイト「子育て相談ドットコム」が、このほど立ち上がった。提供する情報の信頼性を担保するため、回答者は顔や経歴などを公表。いつでも無料で専門家に相談できる仕組みは珍しく、ウェブ業界や子育て支援団体から注目されている。

「不妊治療に集中するため仕事を辞めるべきか」「子が突然かんしゃくを起す」「子育てが苦痛」。こつとした声に向き合つのは、国内外の産婦人科医や小児科医、保育士などだ。

回答者として登録する専門家は、昨年12月上旬時点で約1000人。投稿された質問を空き時間で読み、回答できるものに答えていく。利用者は通常、24時間以内に向らかの回答を得られる。他人の質疑応答内容も、子どもの月齢やキーワード(こ)に検

子育てサイト 回答者の顔や経歴公表



索して参考にできる。「インターネット上には不確かな書き込みも多い。回答者の実績や顔が分かることが重要と思った」。サイト

「子育て相談ドットコム」のサイト

サイトを5月に開設したウェブ制作会社の代表で、大阪府吹田市在住の中島大介さん(33)は語る。  
きっかけは、小学校教員の妻が妊娠中も忙しく、気軽に産婦人科や行政の相談窓口に行けなかったこと。「ネットを介して困っている人と専門家をつなげよう」。専門家に謝礼を支払うが利用者に手数料をもらわないかたちでサービスを提供しようと思った。  
中島さんは開設後、ネット上で情報発信する専門家2千人以上に協力を求めた。初めは断られることが多かったが、育休中の女性医師らを中心に「役に立てるなら」と賛同者が増えつつある。  
同業者から「なぜ無料でできるのか」と驚かれるというが、協賛企業が集まらず事業収入はほぼゼロ。利用者からの感謝のメールを励みに、中島さんはスポンサーを獲得し専門家の登録数を増やすよう努めている。

サイトは <https://kosodate-a.com/>

「詩人」の作、画家の絵、自然やプラテ

本